

## 外国語活動学習指導案

4年1組 砂田 渚

## 1. 単元名 「お店屋さんを開こう!~ようこそ、平野4-1商店街へ~」

主体的に他者と関わり、その中に楽しさや喜びを見出せる子ども  
~「やりたい!」「できた!」の繰り返しを通して主体性を育む外国語活動の授業づくり~

## 2. 単元設定の理由

## (1) 単元について

子どもたちは、1学期に台湾の子どもたちとの交流活動を行っている。その際に、「もっと英語を話せるようになりたい!」「日本と違う文化を学んで楽しい!」「次は、もっと笑顔で話しかけよう!」と、英語や異文化を学ぶ楽しさや必要性を感じたり、自分のコミュニケーションのしかたについて振り返ったりしてきた。そこで本単元では、単元の最後に「お店屋さんを開く」という活動を設定し、お客さんとして海外からの留学生やALTを招待することで、子どもたちの活動への主体性を高めるとともに、今までの活動や学習に対して意味や価値を見出し、より良いコミュニケーションの方法を考える機会としていきたい。また、「買い物」という活動は、子どもたちにとって身近なものであり、子どもたちが日常の場面を想起しながら、より主体的に学習や活動に取り組むことができるのではないかと考える。

単元の導入場面においては、外国のお店や商店街(スークなど)の様子などを写真や動画で見せることで、日本と外国との身近な文化の違いに興味を持たせるとともに、買い物をする際には、相手とのコミュニケーションが必要であることを感じさせる。そのため、子どもたちは本単元で扱う Key word や Key sentence を習得しようとするだけでなく、より自然な会話やコミュニケーションを目指し、相手の好きな物を聞いたり、値段の交渉をしてお客さんと呼び込もうとしたりと、今まで習得してきた言語を元に様々な表現の仕方を工夫するであろう。さらに、日本語母語話者でない留学生やALTを招待することで、子どもたちに、コミュニケーションへの一定の負荷が生まれる。そこで子どもたちは、身ぶり手振りといったノンバーバルコミュニケーションの必要性を感じ、なんとか自分の思いを表現しようと試行錯誤する姿が見られるであろう。そうして相手に自分の思いが伝わった達成感から、他者とコミュニケーションを取る楽しさや喜びを感じることができると考える。そのために、単元を通して一定のドリル活動(歌やチャンツ・発音練習)や言語活動(インタビューやsmall talkなど)の場を設定することで、言語材料の蓄積を図り、子どもたちが自信を持って活動に取り組めるようにしていく。また、留学生やALTを招待する前には、子どもたち同士でお店屋さんを開き、互いにアドバイスしたり、ipadで接客や会話の様子を録画し、見返したりすることで、自分たちの英語や表現のしかたについて振り返られる場を設定する。そうすることで、自分の課題を明確にするとともに、さらにより良い表現のしかたを考え、活動に活かしていくことができるであろう。

このような取り組みを通して、本単元では、子どもたちが主体的に相手と関わり続け、その中に楽しさや喜びを感じられるようにしていきたい。

## (2) 単元の目標

学習指導要領の資質・能力		そうぞう的实践力が 発揮される姿
主体的に 学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国と日本の商店や買い物の仕方の違いについて興味をもち、知ろうとしている。</li> <li>・積極的に欲しい物について相手に尋ねたり、自分の欲しい物を伝えたりしようとしている。</li> <li>・分からない言葉や知らない言葉について進んで調べようとしている。</li> </ul>	分からない時や伝わらない時でも、今まで学習してきた内容や習得した言語を活用して、新しい表現方法を考え、相手と関わり続けようとする姿。
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の良い表現についてほめたり、必要な時にアドバイスや教え合いをしたりしている。</li> </ul>	
表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分からない言葉があったり伝わらなかったりする時に、身振りや手振りを使って伝えようとしている。</li> </ul>	
ことば	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を使って、相手や自分の欲しい物や、その値段について、尋ねたり答えたりすることができる。</li> </ul>	

## (3) 活動構成の仮説

**海外からの留学生やALTをお店屋さんに招待することで、そうぞう的实践力を発揮することができる。**

日本語母語話者でない海外からの留学生やALTをお客として迎えることは、子どもたちに英語を学んだり話したりすることへの必然性を生み、それが主体的な学びの姿勢に繋がっていく。また、自分の思いが伝わらない時や、反対に相手の言葉が分からない時にも、伝えたい相手がいることで、今まで習得してきた言語や表現をふり返り、その中に価値を見出したり、新たな表現方法を考えようと工夫し続けたりすることができると思う。

### 3. 指導計画（全6時間 本時6時間目）

問題解決の流れ	子どもの意識	教師の役割	評価				
			主体的に学習に取り組む態度	人間関係	表現力	ことば	そうぞうの実践力
<p>1 外国の商店や買い物の様子を知り、日本の文化との違いに気づく。学習の見直しを持つ。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">平野 4-1 商店街を開いて、お客さんを招待しよう！</p> <p>2 友達の欲しいものを尋ねたり、自分の欲しいものを伝えたりする。 “What do you want?” “I want~, please.” “How many?” “Here you are”</p> <p>3 買い物をする時に使う言葉や大きな数の言い方を知る。 “How much?” “It’s~yen.”</p> <p>4 商店街を開く準備をする。</p> <p>5 体験してみんなでアドバイスをし合う。</p>	<p>・外国の商店街って何でも売っているんだね！ ・平野商店街と似ているところがあるよ！ ・売り方や売っているものが日本と違うなあ！ ・私たちが英語でお店屋さんをしてみたいな！ ・外国の人に来てもらおうよ！誰を呼ぼう!!</p> <p>・欲しいものを尋ねる時ってなんて言うんだろう？ ・2つ欲しい時ってなんて言うんだろう？ ・“and”も使えるね！ ・～さんの欲しいもの、私と一緒にだ！</p> <p>・値段の尋ね方や言い方を知ろう！ ・大きなお金の言い方って？ ・150って英語でなんて言うんだろう…？ ・外国ってどんなお金を使っているのかな？</p> <p>・どんなお店が喜んでくれるかな？ ・〇〇って英語で何て言うのかな？調べてみよう！ ・もっと笑顔で言った方がいいかな。 ・安くして欲しい時って何て言うんだろう？ ・もう少し発音にも気をつけてみよう！ ・外国の人に伝わるかなあ…？</p>	<p>・実際に教師が外国へ行った時の写真や動画などを見せることで、日本の商店街との共通点や相違点を見出し、その面白さに気づけるようにする。</p> <p>・子どもたちに買い物の場面を想起させながら必要な表現を確認していく。</p> <p>・大きな数に関しては150や250などの10と100の位までの数に限定する。 ・実際に外国のお金を用意し、外国と日本のお金の違いに気づけるようにする。 ・グループごとに買い物のやりとりを動画に取って見たり、アドバイスし合ったりすることで、自信を持って、次時の活動ができるようにする。 ・英語の正確さだけでなく、身ぶりや手ぶり、表情などにも注目させる。 ・分からない言葉については自分たちで調べるように促す。</p>	<p>・外国と日本の商店の違いについて興味をもち、知るとしている。</p> <p>・積極的に欲しいものについて相手に尋ねたり、自分の欲しいものを伝えたりしようとしている。</p> <p>・分からない言葉や知らない言葉について進んで調べようとしている。</p>	<p>・友達の良い表現をほめたり、必要な時や分からない時に、アドバイスや教え合いをしたりしている。</p>	<p>・相手や自分の欲しい物や、その値段について、尋ねたり答えたりすることができる。</p>	<p>・分からない時や伝わらない時でも、今まで学習した内容を用いて、新しい表現方法を考え、相手の欲しい物を探したり、自分の思いを伝え続けようとする姿勢（そ）</p>	
<p>6 お店屋さんを開く。（本時）</p>	<p>・前の時間のアドバイスをいかそう！ ・動作を入れたら伝わったよ！ ・お客さんが喜んでくれて嬉しいな！ ・もっと上手に話せるようになりたいな！</p>	<p>・招待した方々に感想をもらうことで、伝えられた達成感を感じられるようにする。</p>					

4. 本時について（6時間目／全6時間）

(1) 本時でめざす実践力を発揮している姿

分からない時や伝わらない時でも、今まで学習した内容を用いて、新しい表現方法を考え、相手の欲しい物を尋ねたり、自分の思いを伝え続けようとする姿

【そうぞうの実践力】

(2) 展開

問題解決の流れ	子どもの意識	評価（○）と支援（◆）
<p>1. Greeting ・ Small talk</p> <p>2. Warm-up ・ Sing songs Practice</p>	<p>・ 今日はいよいよお店屋さんを開くぞ！</p> <p>・ 欲しいものを尋ねる時は、“what do you want?” だったね！</p> <p>・ 100 よりも大きい数の言い方に気をつけよう！</p>	<p>◆ 本時の活動と関係のある small talk をすることで、学習活動の見通しを持たせる。</p> <p>◆ 本時の活動に関する歌やフレーズを練習することで自信を持って取り組めるようにする。</p>
<p>3. Today's goal ・ 今日めあてを確認する。</p>	<p><u>Today's goal</u> 4-1 商店街を開こう！</p>	
<p>4. Activity ・ お店屋さんを開く。</p>	<p>・ 英語だけでなく、表情や身振り手振りなどにも気をつけたいな！</p> <p>・ お客さんにたくさん英語で話しかけよう！</p> <p>・ 言ってることが聞き取れないなあ…。もう一度聞いてみよう！ どうやって聞けばいいかな？</p> <p>・ 足し算したら 1000 円を超えたよ！ 何て言えばいいんだろう？</p> <p>・ 前に習った “what do you like?” を使って、何が好きか聞いておすすめしてみようかな！</p> <p>・ 外国の人にちゃんと英語が伝わった！</p> <p>・ あんまり売れないから、値下げしてみようかな…。何て声をかければいいんだろう？</p>	<p>◆ 個人でもめあてを立てさせる。</p> <p>◆ 前回友だちからもらったアドバイスを思い出させ、活動にいかせるようにする。</p> <p>◆ あらかじめ、値段は 100、150 などの 50 間隔でしか設定させないようにする。</p> <p>◆ 黒板に Key word や key sentence など子どもの会話の手助けとなるものを貼っておく。</p> <p>◆ お客さん（留学生や ALT）には、あらかじめ買い物ができる上限額を伝えたり、お店と商品の一覧表を渡したりしておくことで、いろいろなお店で買い物をしてもらうようにする。</p> <p>○ 英語を使って、積極的に他者と関わろうとする姿</p> <p>＜主体的実践力＞</p> <p>○ 今まで学習した言葉やフレーズを使って、伝え続けようとする姿</p>
<p>5. Reflection ・ 今日の活動を振り返る。</p>	<p>・ はっきり言ったら伝わったよ！</p> <p>・ 何て言えばいいか分からなかったけど、身ぶり手ぶりをつけたら伝わったよ！</p> <p>・ 喜んでくれて嬉しいな！</p> <p>・ もっと英語が上手になりたいな！</p> <p>・ もっといろいろな人に伝えてみたいな！</p>	<p>＜そうぞうの実践力＞</p> <p>◆ ALT やゲストの方からも感想やアドバイスをもらうことで、達成感を感じさせるとともに、今後の活動にいかせるようにする。</p> <p>◆ Reflection sheet で自己評価をする。</p>